

ハンセン病問題 啓発講演会

～知ってますか？ハンセン病問題～

1月22日(金)

午後2時～午後4時

(午後1時30分開場)

会場:リナシティかのや
3階ホール

入場無料

愛



次第

- ・映像作品「もういいかい」-ハンセン病と三つの法律-
- ・講話「ハンセン病の正しい知識」
後藤 正道 氏 (国立療養所星塚敬愛園園長)
- ・講話「星塚敬愛園入所者自治会70年の歩み」
岩川 洋一郎 氏 (星塚敬愛園入所者自治会長)

主催:鹿屋市(問合せ…鹿屋市保健相談センター 0994-41-2110)

協力:国立療養所星塚敬愛園 星塚敬愛園入所者自治会

本講演会は、社会福祉法人ふれあい福祉協会の助成を受け開催いたします。

※写真の石碑は、星塚敬愛園創立80周年記念碑として、平成27年10月に建立されました。

名誉の回復を求めて

ハンセン病とは

- ・らい菌による感染症です。
- ・感染し発病することはまれです。
- ・治療薬により治ります。
- ・早期に治療すれば、身体に障害が残ることはありません。
- ・わが国には感染源になるものはほとんどありません。身体の変形は後遺症にすぎません。

治る病気なのに、なぜ差別は続いたの？

「癩（らい）予防二関スル件」という法律による患者の強制隔離、患者の家の徹底的な消毒などが、人々の間に、ハンセン病は伝染力の強い病気という、誤ったイメージをうえつけてしまいました。「癩予防二関スル件」はその後「癩予防法」、「らい予防法」へと2度改正されましたが、終生隔離の考え方は継続され、ハンセン病は「怖い病気」として定着してしまいました。そのようなことが、差別・偏見が現在でも根強く残っている原因に挙げられます。

ハンセン病と三つの法律

製作／鵜久森 典妙
監督／高橋 一郎
脚本／川島 信治
高橋 一郎
撮影／原 ひろし
語り／鈴木 瑞穂
日本映画・2012・カラー
デジタル

面積が四十ヘクタールで人口が千余人という、全く玩具のような小国が日本列島の中に存在している事をご存じだろうか——この国では滅亡こそが国家唯一の大理想ということだ。金色燦然と輝くおかの納骨堂の美しさは、滅亡の国のシンボルと言って過言ではないだろう。

島比呂志 著「奇妙な国」より